

今や私たちの生活に電気は不可欠です。国際的にもクリーンエネルギーを進めています、間接的に環境破壊につながるなど完全なるクリーンエネルギーはまだ存在しません。生活を守ることも人権であり、環境を守ることも人権です。このバランスは難しく正解は見出せていません。しかし、人権的観点においてもエネルギー問題は非常に重要です。答えはなくても知って考えることが大切であり、無関心にならないことが人権感覚です。新しいスタートとなるこの季節、常に好奇心を持って何事にも無関心にならないようにしたいものです。



原子力発電所の再稼働推進は本当に必要ですか？

政府は「GX(脱炭素社会)の実現に向けた基本方針」を今年2月に閣議決定し、早くも3月末には「GX推進法案」が衆議院を通過。また、「GX脱炭素電源法案」も審議中です(4/12現在)。後者の内容の中心は、「原子力発電所(原発)の再稼働を加速」「(老朽)原発の運転期間延長」「原発を新たに建設」など、国のテコ入れにより原子力発電の一層の推進を図るものです。

政府は、「脱炭素社会の実現には、発電時に温室効果ガス(CO2)を出さない原子力発電の推進が必要」との立場です。また、火力発電に使う液化天然ガスの価格が、ロシアのウクライナ侵攻や円安等の影響で高騰していることも、原発再稼働推進の大きな理由です。

しかし、原子力発電所の近くで大地震が起きると、2011年の福島原発災害のような大災害につながる恐れがあります。電力会社は、「原子炉は十分な耐震性がある」と主張しています。しかし、原子炉の本体が地震で壊れなくても、冷却水の配管破断や停電などにより炉内のウラン燃料を冷却できなくなると、メルトダウン(炉心溶融)で大量の放射能が放出される危険をまぬがれません。

原発の耐震基準は、最大で約600~1,000ガル(加速度)の揺れを前提として設けられています。しかし1995年の阪神・淡路大震災以降、数多くの地震計が全国に設置され、その基準よりも大きな地震が各地で起こっていることが分かっています。わが国は、世界有数の“地震大国”です。「原発のある場所では決して大地震は起こらない」とは、誰も断言できないと思います。(この問題を提起している映画の例→下記(※1)参照)

また、今年3月4日に甲府市地球温暖化対策地域協議会の主催で開催された「地球温暖化対策セミナー」の講師に招かれた飯田哲也氏(環境エネルギー政策研究所長)は、

- ・原発は高コスト(国民が負担)で、将来世代に核廃棄物(深刻な放射能汚染源)を残す。
 - ・再生可能エネルギー100%(太陽光発電、風力、蓄電池、グリーン水素等の組み合わせ)は低コストで実現できるとの見解が、世界の科学者の主流となった。
- 等と述べています。

ちなみに本県では、ソーラーパネルを設置するために大規模に森林を伐採するなど、乱開発による自然破壊の事例が一部ありました。こうした行為を自治体の条例制定などで防止するとともに、建物の屋根上や、耕作放棄地を利用した太陽光発電、農地と太陽光発電を組み合わせたソーラーシェアリングなどは自然破壊につながらないため、率先して導入していく意義があると思います。(※2)

さらに、山梨県(環境・エネルギー政策課 Tel・055-223-1506)では今年3月に「初期投資0円で太陽光発電設備が設置できます！」と題したリーフレットを作成するなど、太陽光発電の自宅や事業所等への普及に努めています。(環境省の関連ホームページ→※3)

(※1) 映画「原発をとめた裁判長、そして原発をとめる農家たち」(92分)

(本県でも、生活クラブ山梨の主催で5月28日(日)午後2時から「びゅあ総合」(甲府市朝気1-2-2)で上映予定です(参加無料)。参加申込→Tel.055-241-1641(5月19日迄))



(※2) 自然エネルギー100%プラットフォーム「太陽光発電のギモン解決!よくある質問15選」

(※パンフレットをダウンロード可)



(※3) 環境省「再エネ・スタート」(0円ソーラー)



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房1階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

<協賛>
山梨県
甲府市
甲斐市

協賛企業：(株)成心設備、西関東開発(株)、(株)ウィルマート、(株)R&C、(株)フジコー、(株)渡辺工業所、甲府市管工事協同組合、(株)とちの木

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市立里垣小学校 (六年生女子)

人権について

科が 今日人権について聞いて分かったことは、人権とは、命と幸せを守ることです。杉藤さんの話を聞いて、人間は一人一人顔もちがうし、考えもちがうから、どんな考えを持ってもいいんだなと少し自信を持つことができました。私は、ビデオを見て 思ったことは 戦争や天災、人災が昔 たくさん起きていて、子供や、大人が栄養失調下とてもやせていて、かわいそうでした。そこにMSTが食べ物や薬をもってきていて、心強いと思いました。特に印象に残ったのは、同じ国の人と同じ国の人を大量に殺した事件です。町が死体であふれているのに 地元の人たちが、他の国に働きへらないうように対処していて、すごいとおもいました。科は、人権について聞いて、他人に親切にして、気配るような人になりたいです。

甲府市立里垣小学校 (六年生女子)

人権について

私は人権についてよく知らなかったけど、とても大切ということが分かりました。今日、人権は自分の命と幸せを守るといふことを知りました。杉藤さんが言っていたように、自分のことだけでなく、周りの人にも目を向けることが必要だと思います。私は、ビデオで、そばの人でいいから、自分の周りの人にも目を向けて、という言葉が、心に残っています。私もそうだと思っただけです。杉藤さんが、ケガをして松葉づえをついていて困ったことがあったときに、母の子が助けてくれたと言っていました。他にも、優しい人がたくさんいたとこの話を聞いて、人権というのを、もっと考えてみようと思えました。これから私は、今日教わったことをよく考えて動いてみようと思います。私も、杉藤さんが言っていたような人になりたいです。